

弥生児童館での出前講座実施報告書



1) 講座の様子

名古屋自然保護官事務所では、夏休み最終日の8月31日(木)、弥富市の弥生児童館において、小学生(20名)を対象としたワークショップスタイルの出前講座を実施しました。この講座は藤前干潟に生息するカニを題材にして、藤前干潟の学習や生きものへの関心を高めることを目的としています。

児童館での講座は、小学校低学年から高学年までが参加するため、最初に藤前干潟とカニに関するクイズを出題し、子供たちに人気のカニの観察をメインとしました。

各班には、干潟の泥に生息するカニとヨシ原に生息するカニを比べられるように、1匹ずつ手に取れる程度の水槽に入れ、一人一人がじっくり観察できるようにしました。観察のポイントとしては、足の数、目の形と長さ、甲羅の形やはさみの色など種類ごとの特徴を、解説シートを用いて観察し、各自、カニの特徴を意識しながら記入してもらいました。最後には用意したカニの塗り絵に取り組んでもらい、出来た塗り絵を切って、頭につけるお面も制作しました。

今回の講座では、実物のカニに触れられたことをとても喜んでいる児童が多く見られました。藤前干潟を知らない児童がほとんどだったので、ぜひ足を運んで、カニが暮らしている様子を見てほしいと思います。



* 出前講座の様子 1



* 出前講座の様子 2(カニの観察中)

3) 実施概要

実施日：平成29年8月31日(木) 10:30~11:30

場所：弥生児童館(弥富市鯛浦町)

対象：小学校低学年~高学年(20名)

対応：名古屋自然保護官事務所職員3名

※出前講座については、名古屋自然保護官事務所(TEL: 052-389-2877)までお問い合わせください。

2017年9月1日

名古屋自然保護官事務所
アクティブ・レンジャー 吉塚藍

2) 講座の内容

講座のスタイル：ワークショップ

「藤前干潟の生きものを知るワークショップ
カニの観察とお面づくり」

1. 藤前干潟とカニの○×クイズ
2. カニの観察
3. カニの塗り絵とお面づくり